

Kikunokai 菊の会だより

“心を踊る”

■
菊の会は古典舞踊の
研鑽に励み
明日の新しい舞台芸術の創造に
情熱を燃やしています

【発行】

舞踊集団 菊の会
代表 畑 道代

〒161 東京都新宿区西落合2-21-23
電話 03-5983-6001(代)

今更に、あもしたかつた、こうも成っていたか、と希望と反省が交互に入り交じります。今年一年を二年にも三年にもする思いで頑張っています。どうかかわらぬ御指導、御支援賜ります様、お願い申し上げます。

今更に、あもしたかつた、こうも成っていたか、と希望と反省が交互に入り交じります。今年一年を二年にも三年にもする思いで頑張っています。どうかかわらぬ御指導、御支援賜ります様、お願い申し上げます。

昨年中は、大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。皆様には、心はずむ新しい年をお迎えになり、益々御健勝にお過ごしのことと存じます。昨年、念願の京都南座における舞踊劇「阿国かぶき」の公演を行うことが出来まして、一つの節目となった年でした。劇場が人を育てるというか、南座のあの空間が私達の何かを変えてくれました。

昨年中は、大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。皆様には、心はずむ新しい年をお迎えになり、益々御健勝にお過ごしのことと存じます。昨年、念願の京都南座における舞踊劇「阿国かぶき」の公演を行うことが出来まして、一つの節目となった年でした。劇場が人を育てるというか、南座のあの空間が私達の何かを変えてくれました。

新年明けまして お目出とうございませす。

舞踊集団 菊の会
代表 畑 道代



創作舞踊 井筒

民俗芸能の原点にふれ、新鮮な友の会セミナー

第一回友の会セミナーに参加して

安原 幸代

今まで私は、菊の会の活動について全く知らない状態でしたが、十一月十二日の友の会セミナーに、初めて娘二人と参加いたしました。十二日は、埼玉の朝霞から朝早く出掛け、やっと時間までに菊の会にとびこみました。菊の会に着くと迎えて下さる皆様の笑顔が爽やかで、心に残りしました。畑先生のお話は、わかりやすく丁寧で、私や娘にも理解する事が出来、澄き通る優しい声にほっといたしました。長野県、新野の雪まつりのビデオを観る前に、畑先生が詳しく説明をして下さいましたのでビデオを観てもよくわかりました。村をあげて朝早くから、一睡もせず幾つもの儀式をやつていく人達の姿をみて、生活を大切に生きてきた人々の姿、そして、次代に伝えるものを継承させていく村全体の姿に、これが本当のお祭りなのかしらと思ひました。終了後に頂いた、お紅茶ときれいな袋に入ったお菓子にも畑先生のお心遣いを感じました。又、次回を楽しみにしております。有難うございました。



第一回友の会セミナー、菊の会スタジオにて

爽やかでホットな共感の輪を広げる、好評のアトリエ公演!

昨年の掉尾を飾るアトリエ公演は、十二月二十一日から二十四日までの四日間、自主公演で初めて菊の会を知って下さった方も大勢来て下さり盛会に開催された。第一部は、田中青滋作の狂言舞踊長唄「茂登木」で開幕、ユーモア溢れる作品に場内はホットな空気に包まれた。第二部の「海はるか日本を躍る」は、勇壮な祝太鼓に始まり、嵐の序曲、秋田舟方節、御祝、津軽じよんがら節、鬼剣舞、越中小原節、津軽あいや節、南部俵つみ唄、傘おどり、江差追分、せり込み蝶六もつづき、次々とスピーディーにダイナミックに繰り広げられる日本の音楽と踊りに感動の拍手がよせられた。又、一月に予定されてい

一月六日(土)、午後一時より爽やかな晴天に恵まれる中、菊の会スタジオに於いて「新春おどり初め」がおこなわれた。これには、担当講師をはじめ公演メンバー、ひまわりグループの若手メンバー代表が出演した。曲目は、長唄「松の緑」、小唄「初春」、端唄「京の四季」、荻江節「松竹梅」、長唄「都風流」、長唄「越後獅子」、長唄「連獅子」、

新春おどり初め

一月六日(土)、午後一時より爽やかな晴天に恵まれる中、菊の会スタジオに於いて「新春おどり初め」がおこなわれた。これには、担当講師をはじめ公演メンバー、ひまわりグループの若手メンバー代表が出演した。曲目は、長唄「松の緑」、小唄「初春」、端唄「京の四季」、荻江節「松竹梅」、長唄「都風流」、長唄「越後獅子」、長唄「連獅子」、



「海はるか日本を躍る」祝太鼓

上半期の公演・行事のお知らせ

- 長唄お弾き初め
1月29日(月) 2時開演
会場/三越シルバークロスタウン迎賓館
 - 別府杉乃井バレエ大劇場出演
2月1日(木) 29日(木)
 - 民音公演「燃えよ日本列島」
3月28日(木) 長崎市公会堂
30日(土) 佐世保市民会館
 - 4月1日(月) ビーコンプラザ別府
 - 3日(水) 延岡総合文化センター
 - 4日(木) 小倉市民会館
 - 5日(金) 大分文化会館
 - 7日(日) 武雄市文化会館
 - 8日(月) 宮崎市民会館
 - 10日(水) 豊中市立市民会館
 - 5月14日(火) 加古川市民会館
 - 16日(木) 姫路市文化センター
 - 6月4日(火) 長岡市立劇場
- ※友の会総会・懇親パーティーは5月26日(日)東京會館に於いておこないます。
お知らせは、後日お届けいたしますが、皆様お誘い合わせの上御出席下さいます様、お願い申し上げます。

友の会会員募集

伝統文化を大切に、明日の新しい舞台芸術の創造に情熱を燃やす菊の会の幅広い活動を支援するのが友の会です。舞踊家の育成・作品作り、そして

諸外国との文化交流を旨とする菊の会を育てるために皆さんの御支援をお願いします。
一般会員、年一、二万円、法人会員、年一、五万円、詳しくは友の会事務局へ。TEL(03)5983-6001。

新たな作品への思い

実践女子大学文学部教授
三隅 治雄



創立二十五周年をお祝い申し上げます。ほんと、この四半世紀、菊の会は眼を見張るほど成長いたしました。旗揚げ公演にもわたしの作品「ふるさと囃子」を取り上げていただいたし、その後、たびたび書かせていただいて、振り返って見ると、座付作者の感さえます。

会主の畑さんと、大阪万国博の日本の祭りの舞踊構成を手伝っていただいたこと、緑からですが、敬服したのは、あの名人初代尾上菊之丞師の膝下できたえられ、邦舞界のホープと目されながら、全国各地の民俗芸能に接するや、その野性のわざや、わざをつき動かす民衆の魂の鼓動に耳

目を寄せて、日本の踊りを原点から見直そう、まなび直そうとの心をもたれたこと、そして、そのまなびの中から、過去の、江戸・上方に執した日本舞踊の粋を越えた、いわば民族全体の美と魂の躍動をうたい上げる日本人の踊りを創造したいという願いを畑さんがもち、わたしも共感して、以来、共同の作品づくりをたびたびしてきました。

菊の会のメンバーも、その畑さんの思いをよく理解し、全員火の玉となって今日まで精進してきました。創立公演に出た人たちがいまも活躍し、そして年々鳳雛が誕生して、年齢に切れ目のないのが頼もしく、それに、芝居が出来、楽器が扱えるようになったのも嬉しく、いずれは新しい日本のミュージカル集団となつて、だれにもたのしんでいただける作品を共に創りたいと願っています。いま、「にっぽん大通り」を構想中です。

新世紀の舞台へ、輝く未来を目指して!!

心にひびく舞踊劇

阿波よ踊れ



「藍の女」に歓喜と感動の渦!!

これからも夢と感動の舞名を

江戸川区長 中里 喜一

そして、この公演が江戸川区で開催されますことを大変誇りに思います。



菊の会公演「藍の女」にお招きを頂き、有難うございました。素晴らしい芸術を目の当たりにしますと、身も心も全てが清らかでしかも爽やかな気分になります。

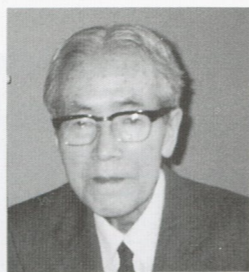
劇の中の畑さん（お葉さん）は、全身全霊を打ち込まれており、芸一筋に生きている人そのものです。本当に感激いたしました。今回の「藍の女」公演は、稀にみる演出であり、文化センター大ホールを埋めつくした観客の全ての人達に大きな感動を与えたことと思います。終演後の観客の大きに満足した顔がそれを如実に物語



舞踊劇「藍の女」第十四景 新町川の船着場

大作「藍の女」を拝見して

元早稲田大学教授 本田 安次



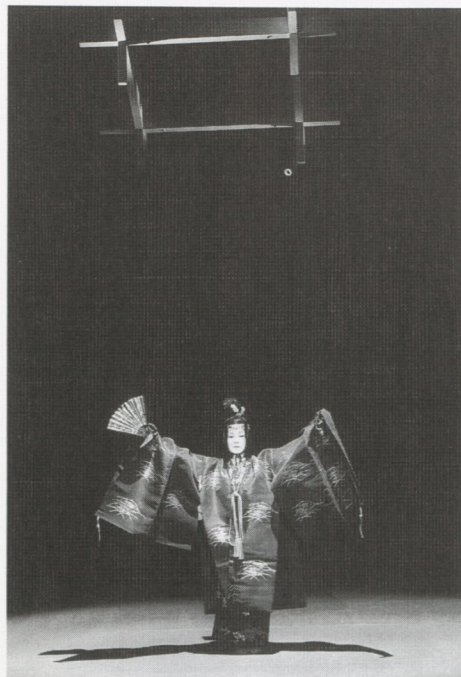
三隅治雄氏作・演出、畑道代さん舞踊構成・振付の「藍の女」は、まこと大作でありました。見終つてしばしホーと致しました。これは現代劇と民俗芸能との巧みな融合であり、一方、巷の人々の生き方が波瀾の中に、人情の機微を穿つて巧みに綾に織りなされていま

した。郷土色濃い阿波踊は、独立の曲としても、かつてその構成の素晴らしさに眼を見張ったことがありましたが、この度はそれが物語りの中にあざやかに、美しく織り込まれていました。ペーローヴェンの「第九」なども面白く彩りを添えていました。全体に亘って、ロマンティズムの色濃く、人生の哀歓がしみじみと感ぜられました。畑さんの演技が目覚ましかった。よしこの節の美しいメロディーが、それぞれの場を盛り上げていました。大奮闘というべきでしょう。普段繊細な畑さんの、どこからあ

創作舞踊展で「井筒」を踊る

第十回創作舞踊展が、十二月十八日、十九日に六本木俳優座劇場で開催され、畑代表は十八日(月)に「井筒」の作品を舞った。井筒は世阿弥の代表作です。井筒とは井戸の事で、能の井筒は、旅の僧が稀代の色男であった業平が住んでいた在原寺に立ち寄ってみた一

夜の夢ともうつともない幽玄の世界に生きる女性の女心を描いた作品で、前半は見事に簡略化された薄墨色の舞台で、重厚に凝縮された能舞の美を、後半は恋慕に身をやく女心の息もつがせず舞い狂う姿に、日本文化の神髄に触れ得た感動の一夜だった。



創作舞踊展「井筒」

これからも、末永く江戸川区民の夢と喜び、そして楽しみを与えてくれるような素晴らしい舞台を期待しております。

終わりになりましたが、畑会主のご活躍と菊の会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。



舞踊劇「藍の女」第十一景 寄合所



舞踊劇「藍の女」第五景 花の富田町

馬車道の人びと(PART II) 「にっぽん大通り」



のエネルギーが出るのかと不思議に思うばかりですが、この道に打ち込んだ人であればこそと頷かれます。また菊の会の皆さんも、賛助出演の方々も、よく協力されたあの舞台が出来上りました。全体の舞台装置、人物の出し入れも巧みでしたが、例えばクライマックスに近い火事場の表現なども、今日の舞台機構を巧みに駆使されて、その表現もまことに適切、心憎いばかりに作を盛上げておられました。

信仰の庭に発し、展開し、伝承されてきた各地の民俗芸能の魅力は何処から発しているのでしょうか。それを体得し、新しい作品の中に生かしてこそと思います。感覚を研ぎすまし、絶えざる精進が望ましいと思います。畑さんを代表とする菊の会の皆さんに期待するところ大なるものがある所以です。この舞台の印象は、いつまでも、暖く、私の心に残るでしょう。



「馬車道の人びと」(PART I)を三隅治雄先生がお書き下さった時は、今の男性舞踊手のほとんどがまだ未成年でした。

今年、そのPART IIという事で「にっぽん大通り」を目下執筆して頂いています。

三隅先生は、若い人達を早く主役又は、それに準ずる役につかかせて成長させる事が大事だと、はじめて大役をそれぞれにつけて下さった思い出の作品です。

この物語の発端が安政五年から始まっていますが、当時百戸ばかりの漁村だった横浜をわずか十三年の間に近代都市に変貌させた若者達の活力を描いたもので、それは、大変頼もしい若者の群像をとらえた未来性に富んだいい作品で

ご御期待下さい。

ご御期待下さい。

菊の会 二十四年のあゆみ

S47年	4月1日舞踊劇「菊の会」創立
S48年	菊の会旗揚げ公演「仔鹿よ躍れ」
S49年	「ふるさと囃子」他
S50年	第1回民音東南アジア派遣公演
S51年	第1回民音J・M・F文化交流
S52年	第2回民音J・M・F文化交流
S53年	第1回友の会懇親会
S54年	「おん初恋」舞踊劇「藍の女」
S55年	第1回サマーフェスティバル開催
S56年	第1回教室発表会開催
S57年	文化庁主催芸術祭参加公演
S58年	三隅治雄氏・演出「カッチャ行
S59年	かねかこの道(芸術祭大衆芸能部門・優秀賞受賞)
S60年	第2回民音J・M・F文化交流
S61年	第14回尾松尾芸能賞・舞踊特別賞
S62年	畑代表が内閣総理大臣招待「芸術文化関係者との懇親の集い」
S63年	「若き鬼たちの讃歌」「おせん」
S64年	「四季に舞う」公演
S65年	3月菊の会新スタジオ落成
S66年	舞踊劇「阿国がぶき」公演
S67年	京都南座舞踊劇「阿国がぶき」
S68年	TELCOM'95に出演(シユネ
S69年	舞踊劇「藍の女」公演
S70年	舞踊劇「藍の女」公演
S71年	「カッチャ行かねかこの道」公演
S72年	リサイタル「はたみちよ舞う」
S73年	外務大臣より表彰を受ける
S74年	日中友好音楽祭出演・台湾公演
S75年	菊の会創立15周年記念公演
S76年	「カッチャ行かねかこの道」公演
S77年	民音マレーシア公演「海はるか
S78年	日本を躍る」
S79年	プリズベーン公演
S80年	黒澤明監督の「夢」の振付・出演
S81年	NHK教育テレビ短期集中講座
S82年	「民謡を踊ろう」の講師として
S83年	畑代表他出演
S84年	第1回学校公演「日本の心を躍
S85年	る」開催
S86年	シンガポール公演
S87年	リサイタル「尾上菊乃里の会」
S88年	(新橋演舞場)
S89年	ハワイ公演・英国ジャパンフェ
S90年	スティバル91民音公演
S91年	菊の会創立20周年記念祝賀行事
S92年	菊の会創立20周年記念公演舞踊
S93年	劇「藍の女」
S94年	第14回尾松尾芸能賞・舞踊特別賞
S95年	畑代表が内閣総理大臣招待「芸術文化関係者との懇親の集い」
S96年	に出席
S97年	「若き鬼たちの讃歌」「おせん」
S98年	「四季に舞う」公演
S99年	3月菊の会新スタジオ落成
S00年	舞踊劇「阿国がぶき」公演
S01年	京都南座舞踊劇「阿国がぶき」
S02年	TELCOM'95に出演(シユネ
S03年	舞踊劇「藍の女」公演
S04年	舞踊劇「藍の女」公演

